

産経新聞 2021年2月22日 「ひこばえ倶楽部」への投稿掲載

(令和2年度入学) 高校1年(六か年コース) A組 神田 ^{としひと} 季仁 君

新型コロナウイルス感染拡大によって多くの変化と問題が生じています。

なかでも私が恐怖を感じるのは、自粛していないと目された個人や店舗に嫌がらせを行う「自粛警察」と呼ばれる行為です。

原因は見えないウイルスへの不安だと思います。彼らは、自らの不安を解消するために、独自の正義を振りかざすのでしょう。

最近、また自粛警察を思い出す話を耳にしました。飛沫が最も漏れにくいといわれる不織布以外のマスクを着けている人に、警戒感を示す風潮です。素材の違いに敏感になるより、正しく着けることが大切といます。

自分が自粛警察にならないために大切なのは、動く前に自らの行動を客観視すること。ウイルスという見えない脅威が不安なのは誰も同じです。自分の行動が他人のさらなる不安にならないか、一度落ち着いて考えるべきではないでしょうか。